

令和4年度 第2回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

1 日 時 令和4年9月1日(木) 18:30~20:30

2 会 場 幕別町百年記念ホール 講堂

3 出席委員 新川 和範、卯月 道彦、平田 昌弘、鳴海 亮、出村 行敬、岸田 智子、川岸 仁、野原 一行、久保田 博己、佐々木 拓也、金谷 洋子、村上 博子

(以上12名、敬称略)

4 事務局 教育長 広瀬 容孝、生涯学習部 生涯学習文化室兼スポーツ室長 河瀬 祐二、生涯学習文化課長 藤原 理恵子、スポーツ課長 佐藤 真樹、生涯学習文化課生涯学習係係員 土田 百花

(以上5名)

5 講師等 幕別町百年記念ホール 指定管理者 特定非営利活動法人 まくべつ町民芸術劇場 館長 佐藤 和良 氏、企画・事業担当 三石 諒 氏、企画担当 酒森 牧子 氏

6 会議次第

(1) 開会

(2) 挨拶 帯広市教育委員会 教育長 広瀬 容孝

(3) 報告

・令和4年度 北海道永年勤続功労社会教育委員表彰の受賞報告

受賞者：松田 信幸 委員

・社会教育委員長等研修会の出席報告

(4) 議事 調査・研究について

・参考講演及び施設見学

講師 佐藤 和良 氏

(幕別町百年記念ホール 指定管理者 特定非営利活動法人

まくべつ町民芸術劇場 館長)

三石 諒 氏

(幕別町百年記念ホール 指定管理者 特定非営利活動法人

まくべつ町民芸術劇場 企画・事業担当)

・グループワーク

上記2名の講師に加え、酒森 牧子 氏(幕別町百年記念ホール 指定管

理者 特定非営利活動法人 まくべつ町民芸術劇場 企画担当)が参加

(5) 閉会

7 議事要旨

(1) 令和4年度 北海道永年勤続功労社会教育委員表彰の受賞報告

松田 信幸 委員が令和4年度 北海道永年勤続功労社会教育委員表彰者に選ばれた旨について説明。帯広市町内会連合会からの推薦として、11年に渡り、帯広市社会教育委員としてご活躍された。

〈意見・質問なし〉

(2) 社会教育委員長等研修会の出席報告

令和4年7月7日(木)、8日(金)に実施された第42回北海道市町村社会教育委員長等研修会に、鳴海委員長の代理出席として事務局が参加した旨について報告。全体のテーマは「社会教育委員とは?～社会教育委員の必要性は?期待されていることは?～」というもの。1日目は国の動向を踏まえた社会教育に関する話の他、社会教育委員の活動が活発な恵庭市と佐呂間町の前社会教育委員長による対談もあり、他自治体の取り組みやリアルな悩み、解決の糸口を聞いた。2日目のグループワークでは、「社会教育委員の活動を楽しむ方法」と題し、他市町の委員長と意見を交換し合った。

〈意見・質問なし〉

(3) 調査・研究について

【調査研究の概要】

この度の調査・研究は、社会教育法における社会教育委員の役割として、「計画を立案したり、意見を述べたりするために必要な調査・研究を行うこと」というものがあることと、また、皆様の普段の社会教育活動等にもお役立ていただくことを目的として、任期の2年間で実施することとなった。調査・研究テーマは「地域住民の学習意欲向上について考える」とし、前回までの会議で、学習意欲向上のための課題を出し合い、4つの知りたいことを整理した。4つの知りたいこととは、1つ目「学習者に興味を持ってもらえるようなICTを使った学習の工夫について知りたい」、2つ目「学習者に情報が届くように、SNSを活用した情報提供の工夫について知りたい」、3つ目「コロナ禍でのボランティアについて知りたい、参加してみたい」、4つ目「マンネリ化を防ぐために、学習者のニーズを知る方法を知りたい」、というもの。これらの知りたいことについて、今回幕別町百年記念ホールの活動事例をお聞きし、学んでいく。また、今回の学びはレポートにまとめて事務局へ提出する。

【講話】

〈佐藤氏・三石氏より説明〉

○委員

今回はレポートを書くはずだが、何を元書けばよいのか。

○事務局

今のご説明や、この後の見学、グループワークを元に記入していただきたい。事前に取りまとめた質問事項とその解答の中に、今説明していただいたこと以外のものも多くあるので、グループワークの時に積極的にお話を聞いていただきたい。

○委員

書き方について了承。その他に質問がある。SNS や ICT を活用する姿勢が伝わってきた。それでも結局は対面のコミュニケーション等アナログなことが大切だということも納得できた。また、指定管理に移行してから大幅に講座数が増えたというお話が印象的だった。イベントや講座を企画するとき、ただ企画するのではなく、ニーズを踏まえる等工夫をしていると思うが、どのように決めているのか。

○講師

企画する講座は興味を広げるための切り口のような、生涯学習の楽しさを知っていただくための入りの内容を心掛けている。参加者がその講座内容を突き詰めるとなると、自ら仲間を作る必要や、より深い内容を勉強するために我々が紹介した先生や、講座の時間では足りないこともあるが、より先の段階へ促すことも必要だと思っている。あまり特化した講座を用意すると続かないこともあるため、ハードルを高くしすぎないようにしている。学習へのきっかけ作りを使命としながら企画を立てている。また、講師に集まっていたき講座に関する意見交換をする場を設けて企画内容を検討することもある。

○委員長

会員の意見をふまえることもあるのか。

○講師

会員には様々な職種の方がおり、講座のお手伝いだけでなく、町民の意見を会員づてにお聞きすることもある。やはり対面で人と接することは必要で、対面せずともつながる SNS や ICT の流れと同様に、どちらも大切なことだと実感している。

○委員

まくべつ町民芸術劇場の活動はどのようなものがあるのか。

○講師

コンサート等を行う鑑賞事業、講座（座学や外に出て学ぶもの）を行っている。

○委員長

ストリートビューでは細かいところも見られるのか。

○講師

料金の関係で広い部屋がメインにはなるが、細かいところは平面図等でもご確認いただくことができる。

【施設見学】

- ・ 会議室
- ・ 入り口前とホール前のサーモカメラ
- ・ 万城目正コーナー
- ・ ホール

※図書館はお話のみ

【グループワーク】

3 グループに分かれ、見学の感想や、質問等を話し合った。

以上